

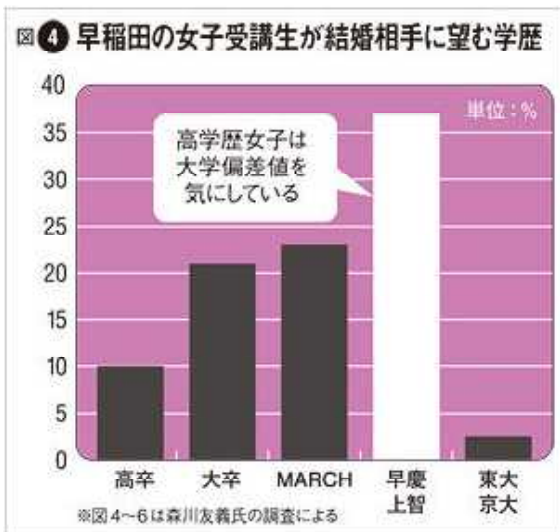


イチローと江頭2:50、AKBと森三中

前号からの続き。「暮らしなんでも事典」から引用する。

*

早稲田大学で「恋愛学入門」を受講する女子学生を対象に、結婚相手に望む学歴を訊いたところ、「早慶上智以上」が4割近くに達した(図4)。高学歴女性は、結婚相手の大学偏差値すなわち「学校歴」にも注目しているのだ。

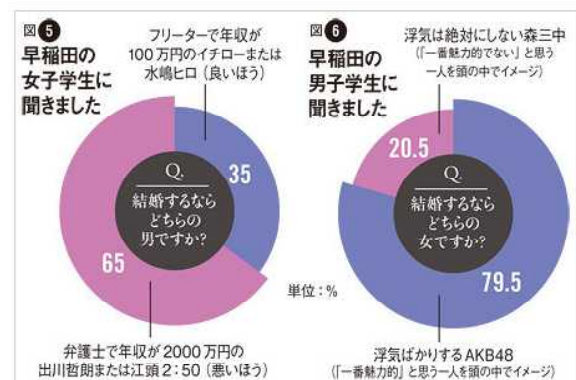


しかし、現実にそのような相手と結婚できるとは限らないと森川さんは言う。「高学歴男性の人口は限られ、女性同士の競争が激しいのが理由の一つ。もう一つは、女子学生の肉食化と男子学生の草食化によって双方がかみ合わないという現実が挙げられます。」

早稲田大学の学生へのアンケート結果によ

ると、女子学生は自分の性格も相手に望む性格も「やや肉食」を選んだ人が多く、男子学生は自分は「やや草食」で、相手に望む性格は「やや草食」と「中間」と「やや肉食」が拮抗。ワセ女とワセ男はかみ合わないことが判明した。

もう一つ、森川さんが学生に対して実施したアンケート調査がある(図5・6)。「年収が100万円のイチローと、弁護士で年収が2000万円の江頭2:50なら、どちらの男と結婚したいか」との質問に、女性の65%が江頭(つまり、見かけより経済力)と答えている。一方、「浮気ばかりするAKB48と、浮気は絶対にしない森三中なら、どちらと結婚したいか」の質問に、8割の男性がAKB(つまり見かけ第一)と答えたのだ。(以下略)



*

この身も蓋もないような調査結果をどう分析するのか? 皆さんにお任せします。最後に、「この講座、出てみたいですか?」